

南房総市地域公共交通計画(2021年8月策定)概要版

～地域の公共交通利用の主流となる地域住民・来訪者の移動支援と持続可能な魅力ある公共交通を確立～

1 背景・目的

南房総市は南房総地域の6町1村の合併によって誕生した市で、高齢化率は約45%となっており、生産年齢人口の流出に伴う著しい人口減少と高齢化の進展する「過疎地域」であります。特に三方を海に囲まれる半島性は変則的な地形に加え、面積が広い地域にもかかわらず可住地面積が限定されているため、バス路線は長大で往復運行にせざるを得ない非効率な状況となっています。

本市では、「地域公共交通網形成計画」の策定を平成27年度に行い、生活交通の維持（気づき・つくり・守る・育てる）のみならず、まちづくり等の地域戦略との一体的かつ広域的・総合的な地域公共交通ネットワーク形成を行うとともに、地域・路線の評価や課題を踏まえた改善及び地域全体を見渡し将来のまちづくりを見据えた地域公共交通施策の検討を行ってきました。一部の施策を実行したところではありますが、計画期間の終了を迎えました。そのため、令和2年度の法改正を踏まえ、これまでの施策に新たな要素を取り入れながら、今後も各種交通施策に取り組むため、南房総市地域公共交通計画（計画期間：令和3年度～7年度）を策定しました。

2 現状と課題

【社会経済動向】

- 小規模分散型の都市構造
- 少子高齢化の進展
- 交流人口の拡大
- 需要の減少と厳しい交通事業経営
- 自主財源の少ない市財政
- 災害被害による観光ニーズの低下

【まちづくりの方向性】

- 地域間を連絡する交流軸、地域生活軸で構成された都市構造
- 着地型の魅力ある観光都市
- 環境都市への取り組み
- 安心して暮らせるひとにやさしいまちづくり
- 学校の統廃合

【交通現況特性・問題点】

- 過度な自家用車での移動
- 地域内移動の公共交通利用者の減少
- 高速バス利用の伸び率の低下
- 小規模分散型需要分布と長大路線による非効率な運行
- 多様な既存交通システムが存在
- 二次交通の不足
- 市営路線バスのうち長期見直されていない路線が存在
- 2018年1月よりサイクリストのためのイベント列車（B.B.BASE）の運行が開始

【住民・来訪者ニーズ】

- 自家用車に依存せざるをえない。
- 将来高齢になった場合、移動に不安を感じており、公共交通への転換需要がある。
- 多くの市民は、移動困難者のために公共交通の必要性を感じているが、自らの日常の移動には困ってはいない。だが、将来高齢者となった場合には、介助なしで公共交通を利用できるのか不安を感じている人がある。
- 将来の公共交通について、利用者負担も考慮した事業を展開していくべきとの声がある。
- 観光客における公共交通利用者は現状では5.0%未満となっている。

【地域公共交通の課題】

- 地域住民や来訪者等の二次交通の利便性確保
- 地域公共交通維持に向けた幹線・支線の明確化
- 分散型都市構造を支える交通結節点の強化
- 地域にある全ての交通モードの有効活用（鉄道、路線バス、タクシー、スクールバス、その他交通）
- 持続可能な地域公共交通の維持・育成にむけた市民の協力と人材の育成

3 基本的な方針と計画目標

《基本的な方針》

- ①日常的な生活系交通を確保するとともに、まちづくり・観光振興等の地域戦略と一体となった地域公共交通ネットワークを構築する。
- ②高齢者をはじめとする地域住民の移動ニーズや地域特性を踏まえ、広域的な移動支援、市内地域間の移動支援、それぞれの地域公共交通が果たすべき役割・機能及び交通業者・行政・地域住民の責務を明確化し、地域特性に応じた効果的・効率的な地域公共交通体系の再構築を図る。
- ③鉄道やバス・タクシー車両等の地域内にある全ての交通手段を積極的に活用した効果的な交通サービスの提供を図る。
- ④地域公共交通活性化協議会を軸として、関係者間の調整、交通事業者の積極的な関与及び地域住民の多様な協力体制づくりを通じた地域公共交通の維持・人材育成を図る。
- ⑤地域特性や地域住民ニーズに応じた交通サービスの提供とともに、関係者の合意形成を図り、地域が協働で検討、計画を行うことができる機会の提供と共通認識を図る。

《基本理念》

小さな拠点と連携する公共交通網の再編により、将来都市構造を支え、地域の公共交通利用の主流となる地域住民・来訪者の移動支援及びまちづくり・観光振興等と一体となった持続可能な魅力ある公共交通を確立する。

《計画目標》

①機能・役割を明確化した再編により、わかりやすく利便性の高い公共交通体系を構築し、地域内の全ての交通モード相互の連携を図り、地域のための公共交通を維持・存続

②着地型観光地としての特色を活かした魅力的な交通サービスの提供

③地域に存在する既存交通システムを活用した効果的・効率的な運行

④キーマンの育成と地域住民の協力による地域特性に応じた多様な生活交通の確保

⑤地域住民、交通事業者、行政との連携による持続可能な仕組みづくり

対応する基本方針:①、②

拠点連携を支援する地域内交通システムの検討（白浜千倉館山線）

【実施主体】南房総市、交通事業者、地域住民

- ・白浜千倉館山線は、平成31年3月に「白浜千倉線」と「館山千倉線」の利便性の向上を目的としたダイヤ改正が行われ、1本に統一されている。
- ・しかし、館山駅から安房地域医療センター間の需要が多いことから、効率化と新たな需要創出を目的として、例えば利用状況を踏まえながら千倉駅を交通結節点（起終点）とし、千倉駅から安房白浜駅間を折り返し運行するような運行形態を検討する。
- ・事業の実施に当たっては、南房総・館山地域公共交通活性化協議会において、館山市とともに内容検討を行う。



対応する基本方針:①、②、③

交通結節点の機能強化

【実施主体】南房総市、交通事業者

➤白浜地区におけるバスターミナルの機能強化

- ・白浜コミュニティセンターの隣地に、白浜地域における交通結節点としてバスターミナルを整備し、地域住民及び来訪者の利便性及び安全性を向上させるため、「南房総市安房白浜駅」とP&BR駐車場・駐輪場の整備を実施した。
- ・今後は、更なる利用促進及び活性化のための機能強化をバス事業者と連携しながら取り組む。



対応する基本方針:②、③、④

廃止代替バス路線の運行方法の変更と新たな交通システムの支線運行

【実施主体】南房総市、交通事業者

➤平群線・丸線の路線短縮・運行方法の変更

- ・南房総・館山地域公共交通計画で事業検討している「三芳分庁舎を交通結節点とし、三芳分庁舎以遠各地区を巡る系統分離することも検討する」について、関係機関との調整を図りながら、既存路線を短縮することや、三芳分庁舎までのダイヤの増便など二次交通の幹線としての機能強化を図る。
- ・再編と併せて、三芳分庁舎以遠においては、費用負担の見直しを前提とし、新たな交通システムによる支線運行を検討し、交通結節点におけるバス路線との接続を重視し運行する。



対応する基本方針:①、②、⑤

交通系 IC カードや PayPay、WAON カードなどを活用したキャッシュレス化の促進

【実施主体】交通事業者、南房総市

- ・交通系 IC カードや PayPay、WAON カード等の導入により、運賃支払いのわずらわしさを解消し、公共交通の利便性向上に繋がるとともに、多様なモードの共通運賃の設置も可能となる。
- ・そのため、鉄道事業者、バス事業者、市による研究会等を立ち上げ、導入の意義、課題等共通認識を持ち、導入に向けての調整を行う。
- ・また、商業施設・観光施設等における電子マネーとしての活用等を視野に入れ、商業事業者・観光事業者等との調整を行う。



対応する基本方針:③、④、⑤

市営路線バス及び交通空白地域における多様な交通システムの運行方法の検討

【実施主体】南房総市、交通事業者、地域住民

- ・地域が一体となって、地域公共交通の現状と課題について正確な共通認識を持ち、まず地域公共交通の存在意義をはっきりさせ、地域公共交通維持の再検証を行う。
- ・その上で真に地域公共交通が必要な交通空白地域においては、地域住民が主体となって地域特性に応じた運行方法を検討し、運行する仕組みの構築を目指す。



対応する基本方針:①、②、⑤

B,B,BASE やレンタサイクル等、観光交通利用促進に向けた取組

【実施主体】鉄道事業者、バス事業者、南房総市

- ・2018年1月より運行を開始したB,B,BASE（自転車専用列車）や臨時観光列車の誘致に地域が連携し、公共交通を活用した旅行商品化などに取り組み、災害等により衰退が進む観光客の呼び戻しを図る。
- ・鉄道事業者や南房総市観光プロモーション協議会等と連携し、PRを効果的に行うとともに、南房総市に訪問したくなるような景観・沿道環境づくりの検討を行う。



＜評価指標の目標値＞

評価指標	指標の定義	現況値	目標値
年間バス利用者数	高速バスを除く市内を運行するバス路線の年間利用者数	359,499 人	現況値
年間観光客数	道の駅等の主要観光施設の年間観光入込客数	5,026 千人	現況値
市財政負担額	市営路線バス利用者1人当りのバス運行に係る市の年間財政負担額	27,106 円	現況値の金額の範囲内
利用者の満足度	アンケート調査による地域公共交通に対する満足している人の回答割合	14.4%	20%
高齢者の外出回数	アンケート調査による高齢者の1週間当りの平均外出回数	2.1 日	3.1 日
運転免許証返納件数	運転免許証返納件数	361 件	700 件
渋滞緩和	国道127号（富浦IC～福沢交差点）の平均旅行速度	16.5 km/h	25 km/h



＜問い合わせ先＞
南房総市地域公共交通活性化協議会 事務局
（南房総市 総務部企画財政課）
TEL:0470-33-1001 FAX:0470-20-4598

